

## ◆◆◆ 英語多読・多聴のすすめ ◆◆◆

多読とは「辞書を使わずに、わからないところは飛ばしながら英語の本を読むこと」\*です。読んでわかる英語を大量にインプットすることは言語習得理論上も有効で、英語学習法として実績を上げています。

「英語の本を読んでみよう！」と本を手にしたものの途中で諦めてしまった経験がある人は多いと思います。なぜ読み終えられなかったのでしょうか。それは英語が難しすぎたか、内容が面白くなかったかのどちらかです。一冊読み切るには易しい英語で楽しんで読める本を選ぶことが大切なのです。「多読」本には絵本・童話からノンフィクションや小説まで、さまざまなジャンルとレベルの本があります。その中から、自分のレベルに合わせ、面白いと思う本だけを、自分のペースで読んでいけば英語力がアップするというのですから、こんなに美味しい話はありませんよね！

では、どこで「多読・多聴」本に出会えるのでしょうか。それは図書館2階にある「英語多読本」コーナーです。そこには、950冊もの多読本が皆さんを待っています。好きな本は基本的に何を読んでも良いですが、どのレベルの皆さんも Oxford Reading Tree シリーズの子供向け絵本から始めましょう。5冊で1話のストーリー構成ですが、日常生活のふとした出来事を描いた秀作揃いで、ステージ1からステージ9まであります。じっくり味わいながら何度でも読んでください。その後は自分のレベルに合わせ、好きな本だけを読む贅沢を味わってください。一番人気は Curious George シリーズ。子供の頃アニメを楽しんだ人は驚くほど英語がわかる経験をするはずです。I Can Read Books シリーズには“Frog and Toad are Friends”など、心がほっこりするお話が多く人気があります。探偵物好きには少年・少女の探偵が活躍する Nate the Great シリーズや Cam Jansen シリーズ。ミステリーやノンフィクションもたくさんあります。オバマ前大統領や錦織圭など、著名人の伝記もお勧めです。Harry Potter シリーズや宮沢賢児の童話、サン・テグジュペリの The Little Prince など、児童文学はよく読まれています。さらにシェイクスピアの Romeo and Juliet からチャールズ・ディケンズの Christmas Carol など

の珠玉の名作まで、選ぶのに困るほど多様なレベルとジャンルの多読図書が揃っています。長い小説も簡約版で読み易くなっていますので、短期間で数多くの作品に触れることができます。是非本の虫 (bookworms) になって琉大在学中に読破してください。

さて、易しい本を堪能したら、次は英語のレベルを上げてみましょう。多読図書の英語のレベルはレベル0からレベル6まであり、語数(冠詞等も含む)も500語から30,000語程度まであります。琉大生の幅広い興味をカバーし、琉大生の英語力に合う本が準備されていると考えていいでしょう。2、3ページ読んで、つまらないと思ったら、別の本に取り替えてください。知らない単語が多すぎてすらすらと読めない場合は、レベルが高いということですので、迷わず易しい本に替えてください。自分の語彙レベルより少し下のレベルの本を楽しんでたくさん読む方が英語力向上へ繋がります。

では、どれくらいの量を読めばいいのでしょうか。皆さんは授業も取りながら読むわけですから1個学期に10万語を目標にしてください。読書日を決めるもよし、隙間時間を徹底利用するもよし。週2~3時間せつせと読むと読書スピードがあがり内容も楽しんで読めるようになります。さらに理解度をあげるために、簡単な感想を書くことをお勧めします。絵本のような易しい本でも100万語読むとTOEFLに出題されるような説明文の理解度も上がり、200万語ではペーパーバックがすらすら読めるようになります。全ての多読図書には裏表紙か表紙の内側に総語数が書かれていますので、読んだ本のタイトルと語数を記録し、明日への励みにしてください。読むスピードにもよりますが、1日30分の読書を続ければ1年では誰でも100万語を達成できます。4年間では、図書館の英語多読本を読破することも可能です。さあ、今日からあなたも多読を始めてみませんか？

もう一つ大切なことについてお話しします。英語力アップの車の両輪は「多読」と「多聴」です。文字と音の洪水にひたって楽しみながら読解力と聴解力をつけてください。多読本の裏表紙にカバーがある本(Oxford, Cambridge, Longman 出版)には、CDが付いています。本を読み終えたら、是非CDを聞いてください。心に響く声と物語を堪能しながら、発音に慣れ、耳を鍛え、聴解力アップを目指しましょう。

多読・多聴がいかに英語力アップに効果的かを示すエピソードを二つ紹介

しましょう。奈良県のある高校では多読による英語指導で生徒の英語力が飛躍的に伸び、東大・京大に多くの合格者を出す進学高になったそうです。また、あるグローバル企業に勤める方からは短期間で聴解力を上げた経験をお聞きしました。香港勤務を命じられたその方は、必死に勉強した結果、3か月でTOEFLiBTスコアを40点台から80点台へ上げることに成功したそうです。リスニングの勉強法をお聞きしたところ、易しい英語の本を数冊、暗唱できるほど何十回も聴いたと話されていました。聴解力アップの鍵は多聴にあり！はっきり言って、やらないと損です。

最後に「タドクラブ TADOKULove」活動についてお知らせします。琉大では皆さんが楽しみながら一緒に多読を続けられるように、学期中に週1回「多読」活動をしています。琉大生は誰でも参加できます。場所は共通教育棟3号館の教室、曜日は学期によって異なりますが、昼間主・夜間主の皆さんが参加できるように5限に組んでいます。曜日と開始期日は各学期の初めに学内の電子掲示板でお知らせしますので注意をご覧ください。今年度、多読でどれだけ英語力がついたかを調べるために、1年間多読を続けている学生数人にTOEFLiTP(実施：琉大生協。平成29年度は1月27日(土))を受験してもらいました。この調査は来年も実施する予定ですので、興味のある方は是非ご協力ください。図書館で読むもよし、家で読むもよし、仲間と読むのはなおよし！3号館でお会いしましょう！

法文学部 豊島麗子

\* 古川昭夫・神田みなみ編著『英語多読完全ブックガイド』第3版  
コスモピア, 2010.

